

# 紙風船



## ◆前学期後半スタート 戻ってきたぞ 57人の元気な声と真っ黒笑顔



思い返せばあっという間の32日間でしたが、子どもたちは、全員元気に学校生活を再開しています。みんなほどよく日焼けして、夏のエネルギーを十分に吸収しながら生活していたことをよく物語っています。また、今年は、「県民防災の日」にあたる8月9日に、中学校の「防災研修＆訓練」に本校5・6年生が参加させていただきました。一昨年の先達地区での痛ましい災害を忘れることなく、「備えよ常に！」という心持ちで、バケツリレーや簡易担架づくり、そして非常時の炊飯体験等に真剣に臨んでいました。さらに、子どもたちがそれぞれにアイデアを出して取り組んだ課題学習も、ご家庭の皆さんのご協力のおかげで、大変充実しています。絵画・工作・手芸・観察記録等様々な作品は、1Fプレイルームに展示いたしますので(8/27~9/4)保護者や地域の皆さんにも、ご覧になっていただきたいと思います。



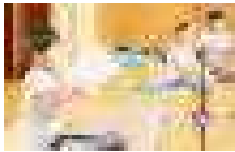
●いざというときのために備えておきたい  
チームワークです。



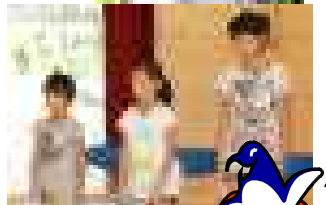
●収穫の喜び  
満面の笑顔

## ◆「実りの秋」につながる努力を!! 後半戦もがんばるぞ~ひのきっ子

人には得手不得手や身体的・体力的な特性があります。そのことを自覚しながらも、ウイークポイントから逃げずに自分を伸ばす努力を続けることが大切だと思います。休み明け集会では、チャレンジする気持ちを、「実りの秋」にたとえてお話ししました。前学期後半から後学期にかけて、学校は学習内容や行事の多様さにおいて、最も充実した時期となります。そんな時期だからこそ、自分がやるべきことに、しっかりと取り組めるようになって欲しいものです。



つづいてM.さん(6年)・M.さん(4年)・S.君(2年)の3人の代表が立派に決意を述べました。ひのきっ子の皆さん、残暑はまだまだ続きますが、負けずにがんばっていきましょう。



●いきなりのお願ひにも快く応じてくれたS.君、体調不良で欠席のR.君の原稿を読んでくれました。

●がんばりが期待できそう



## ◆夏に鍛えたペンギンズ、少数精鋭の選手たちですが、8月30日(日)に角館小学校のプールで行われる「きたうら水泳大会」では、練習の成果を思い切りぶつけてほしいものです。 **がんばれ!! 松木内ペンギンズ**

## ◆休み中の頑張り おめでとうひのきっ子!!

◎ひのきっ子大健闘 (大仙オープン市民卓球大会)  
小学校4年男女の部 優勝 K.さん  
小学校3年男女の部 第3位 A.くん  
第3位 A.くん



今後の活躍も楽しみだなあ~

※ 各部門の金賞を受賞した皆さんです。

○『硬筆の部金賞』

【全県児童生徒席書大会大曲仙北大会】

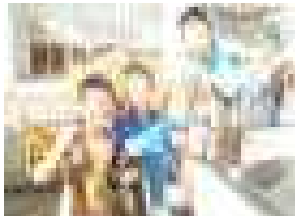
1年 A., T., M.  
2年 A., A., K., S., H.

○『半紙の部金賞』

3年 S., H. 4年 A., I., S., S.  
5年 A. 6年 A., K., S., N., H.

●力をつけてきた面々 これからの活躍も楽しみ!!

## ◆空き瓶回収へのご協力ありがとうございました。(8/16)



当日は、早朝からの作業にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様、ひのきっ子たちの頑張りで、多くの瓶を回収することができました。ありがたいかぎりでした。ご協力いただいた地域の皆様にも感謝申し上げます。

◎収益金は、PTA活動や児童会活動等子どもたちに還元されるよう活用を図ってまいります。

○こどももがんばる 父さん母さんも…先生たちだって!

## ◆子どもの命を守る地域・学校・大人でありたい!!



あまりにむごい大阪寝屋川の事件です。後を絶たない残忍残酷な事件の被害者は、残念ながらそのほとんどが子どもや女性、そしてお年寄りなどの弱者なのです。「人を傷つけてはいけない・殺してはいけない!!」と教わらなかった人がいるのでしょうか? 考えれば考えるほど胸が痛みます。さて、保護者の皆さんに緊急のメールを配信し、子どもさんたちの安否を確認させていただいた8月7日の夕刻の事案を補足説明させていただきます。

夕方4時過ぎに「子どもが川でおぼれています」という一本の電話通報がありました。対応した教頭が場所の特定や発信者の情報を得ようとしたが「らち」があかず、居合わせた職員で手分けして考えられる場所をめざすと共に、警察・消防・教育委員会等へ連絡しながら必死に対応いたしました。そうするうちに他校へも同様の不審電話が入っているとの情報があり、「いたずら」ではあるまいかとは思いつつも、「我が子の身に何かあったら大変」という思いで、「全校児童の安否確認」に至った次第です。私も出張先から慌てて帰校しましたが、全員無事の確認が取れるまでは気が動転しておりました。

翌日、北海道で45校、本市内の複数校と大仙市内1校への事実無根の同様の不審電話があったことを知りました。子どもを守るはずの大人がなぜ? 怒りにも似た情けなくむなしい気持ちは今も続いています。関係機関の方々の対応に感謝しつつ、あらためて「危機意識」を常に欠かさずことなく、地域保護者の皆様と手を携えながらひのきっ子を守っていく決意を新たにしました。PTAでもお話ししたとおり、「連れ去り事案」に関しては、人目の少ない本地区が最も危ない地区と言えるでしょう。今後も心配な情報を皆様と共有しながら、最善を尽くして事故の未然防止に努めて参りましょう。ご協力の程よろしくお願ひいたします。

